

◎ヤッコソウ特集



やっこ凧

わたしが子どものころ、凧あげといえばやっこ凧ばかりでした。

# 上西集落支援員だより

西之表市地域支援課  
上西集落支援員  
馬場 信一 編集  
連絡先090-9579-3953  
上西校区長責任発行

## 伊勢神社にヤッコソウ

夏間近でした。池之久保の牧山克郎さんより一件の電話がありました。「伊勢神社には、毎年秋に朝夕が冷え込むころヤッコソウが生える」というのです。さらには「日置市では天然記念物に指定されて群生しているが、伊勢神社でも見られる」とも教えてくださいました。

上西小に勤めていたころに一度だけ見たことがあります。また見たい。その一身で10月末から毎日、伊勢神社の元慰霊碑辺りに足を運びました。

### ヤッコソウを調べてみると…

Q. 植物なのになぜ緑色じゃないの？  
A. 光合成をおこなわないため葉緑素を持たず、色は白かベージュ。高さは3cm程度。（右写真）

Q. 栄養は？  
A. 寄生植物ということで、シイノキの根からもらっている。（下図）

葉緑素をもたない寄生植物で、森林のシイノキの根に寄生する。（ウィキペディアより）



ヤッコソウ  
伊勢神社にて  
今年11/4撮影

ヤッコソウの由来はその名も「奴」からです。奴は江戸時代に武家の低い身分にあたり、主が出かけるとき荷物持ちなどをしました。

明治39(1906)年、高知県で初めて発見され、植物学者牧野富太郎によって命名されました。

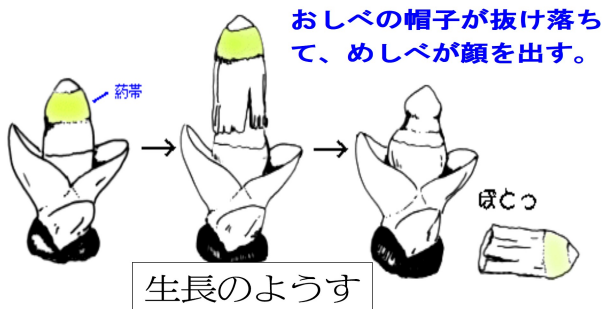
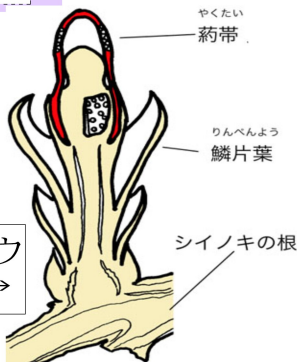


奴(やっこ)

分布図



ヤッコソウの断面図→



花には甘い蜜がたくさん出ている、鱗片葉の付け根にたまる。そこへ昆虫などが蜜をもとめてやってくる。（右図）

たまった蜜をなめようと頭を入れるとおしべの帽子にふれて花粉がつく。別の花に移って蜜をなめようとするときに受粉する。こうして繁殖する。

シイノキの根本にだけ生えるとは不思議な植物です。



みつ  
おーい、おいしい蜜があるよ。寄っていかないかい？

かふん  
たくさん花粉をつけていってね。



伊勢神社のヤッコソウは

残念ながら市指定天然記念物ではありません。しかし今後も保存されるべき珍しい植物です。11/9現在、19本生息。